

【41】使役 「子どもに部屋を掃除させます」

使役

「让孩子打扫房间」



基本語彙

動詞・名詞

ふくしゅう 復習する	复习	まいしゅう 毎週	每星期
かんが 考える	考虑、认为	ゲーム	游戏
		けが(を)	受伤

応用語彙

動詞・名詞 等

なら 習う	(跟~)学习	ごうかく 合格する	合格、及格
おごる	请客	しゅうしょく 就職する	就业
そうたい 早退する	早退	にゅういん 入院する	住院
しゅっせき 出席する	出席	あんしん 安心する	放心
けっせき 欠席する	缺席	しんぱい 心配する	担心、惦记
		さき 先に	先(指时间或顺序等)

文法・文型

★使役形

向某人施动让其做某事时使用使役形。例如，在说「母親は子どもにごはんを食べさせる。(母亲让孩子吃饭)」时，实际上吃饭的是“孩子”。但是，因为是由母亲向孩子施动，让其做“吃饭”这一动作的，所以主语是“母亲”。此外，在请求得到某种许可时，也使用使役形。像「ちょっと窓を開けさせてください。(让我把窗户打开吧)」这一类的讲法即属此类。

使役形は、自分以外のものに働きかけて何かをさせたりすることを表すときに使います。例えば、「母親は子どもにごはんを食べさせる。」といったとき、実際にごはんを食べるのは「子ども」ですが、「母親」が「子ども」に働きかけて、子供に「ごはんを食べる」という動作をさせたわけです。ですから主語は「母親」になります。この他に「ちょっと窓をあけさせて下さい。」のように許可を求めるときも使役形を使います。

1. 动词的使役形 動詞の使役形

① いちだんどうし **一段動詞** 把辞书形「る」去掉再加「させる」 辞書形の「る」をとって「させる」をつけます。

お起きる → おきさせる た食べる → たべさせる
み見る → 見させる おし教える → 教えさせる

～る → ～させる

② ごだんどうし **五段動詞** 把动词原形中最后面的「う段音」变成「あ段音」后再加「せる」
辞書形の「う段音」を「あ段音」に変えて「せる」をつけます。

わ	ら	や	ま	ぱ	ば	は	な	だ	た	ざ	さ	が	か	あ	あ段
い	り	い	み	び	び	ひ	に	ぢ	ち	じ	し	ぎ	き	い	い段
う	る	ゆ	む	ぶ	ぶ	ふ	ぬ	づ	つ	ず	す	ぐ	く	う	う段
え	れ	え	め	べ	べ	へ	ね	で	て	ぜ	せ	げ	け	え	え段
を	ろ	よ	も	ぼ	ぼ	ほ	の	ど	と	ぞ	そ	ご	こ	お	お段
買 <small>か</small> う	乗 <small>の</small> る	読 <small>よ</small> む	呼 <small>よ</small> ぶ	死 <small>し</small> ぬ	立 <small>た</small> つ	話 <small>はな</small> す	急 <small>いそ</small> ぐ	書 <small>か</small> く							
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
買 <small>か</small> わ	乗 <small>の</small> らせる	読 <small>よ</small> ませる	呼 <small>よ</small> ばせる	死 <small>し</small> なせる	立 <small>た</small> たせる	話 <small>はな</small> させる	急 <small>いそ</small> がせる	書 <small>か</small> かせる							

～(あ)段音+せる
↑
～(う)段音

③ とくしゆどうし **特殊動詞**

する → させる くる → こさせる

④ **郑重体和简体** ていねいたい ふつうたい 丁寧体と普通体

一段動詞：食べる

	普通体	丁寧体
現在肯定	たべさせる	たべさせます
現在否定	たべさせない	たべさせません
過去肯定	たべさせた	たべさせました
過去否定	たべさせなかった	たべさせませんでした

五段動詞：書く

	普通体	丁寧体
現在肯定	かかせる	かかせます
現在否定	かかせない	かかせません
過去肯定	かかせた	かかせました
過去否定	かかせなかった	かかせませんでした

动词的使役形「～させる／～せる」的变化规则和一段动词一样。

使役形の「～させる／せる」の活用規則は一段動詞のそれと同じ形をとります。

2. 使役形的句型 使役形の文型

①(Aは) Bに (～を) + 【動詞の使役形】

(A) 让 / 叫 B (把～) + (動作)

像「日記を書く(写日记)」「車を運転する(开车)」等使用助词「を」的动词，都能构成这种形式的使役句。此处的A代表的是发出指令的人，而B则是接受指令并具体做出动作或行为的人。因此这个句型①和下面的句型②，对长辈或上级通常不能使用，所以要注意。

「日記を書く」「車を運転する」のように、助詞「を」を用いる動詞の場合は、このような形の使役文になります。ここでAは、指示命令を出す人、Bは指示命令を受けて実際に行動する人です。従って、この①も、次の②も目上の人には使えない表現ですから注意しましょう。

1. 先生は ^{せんせい} 生徒に ^{せいと} 教科書 ^{きょうかしょ} を ^よ 読ませた。 老师让学生看教科书。
2. (私)は ^{わたし} 子どもに ^こ 部屋 ^{へや} を ^{そうじ} 掃除させました。(我)让孩子打扫房间。

②(Aは) Bを (場所に／へ) + 行かせる／来させる／帰らせる

(A) 让 / 叫 B (到某个地方) + 去 / 来 / 回家

请注意：「行く／来る／帰る(去／来／回来)」等动词，和用于上面①中的「掃除する／読む」等动词不同，都不使用助词「を」。如果是这类动词的话，接在做动作的人B后面的助词不是「に」而是「を」。

「行く／来る／帰る」等の動詞は上の①の「～を 掃除する／読む／…」等と違い、「を」を取らない動詞です。こうした動詞の場合は、動作をする人につく助詞が「に」ではなく、「を」になりますので注意しましょう。

1. (私)は ^{わたし} 子ども ^こ を ^{いえ} 家 ^{かえ} へ 帰らせた。(我)让孩子回家了。
2. 先生は ^{せんせい} 生徒 ^{せいと} を ^{じむしつ} 事務室 ^い に 行かせた。 老师让学生去办公室。
3. 先生は ^{せんせい} 生徒 ^{せいと} を ^{ろうか} 廊下 ^た に 立たせた。 老师让学生站在走廊上。

③ (私に) 【動詞の使役形】+ てください / ないてください

请让我~ / 请不要让我~

(私に) 【動詞の使役形】+ て / ないで

让我~ / 不要让我~

在第28课中已学过的「~てください(请~)」是希望别人做某事，在拜托对方时所使用的基本句型。但是，「(私に)動詞の使役形+てください」这个表达方式则不是拜托某人希望他做什么事，而是用于自己在做某事之前先跟对方打一下招呼，或自己提出想做某事的时候。如果对方是自己的朋友，「ください」可以省略。

28課で学習したように、「~てください」は他の人に何かしてほしいことがあるとき、その相手にむかって頼む場合の基本的な文型です。「(私に) 動詞の使役形+てください」の表現は、他の人に何かしてほしいと頼むのではなく、その相手にむかって自分がやりたいことについて、相手に一言断ったり、申し出たりする言い方になります。友達が相手なら、「ください」は省略できます。

1. A: 次、コピーを^{つき}使わせて^{つか}ください。(下次 / 下面)让我用复印机吧。
B: どうぞ。请。
2. A: あ、おいしそう。ちょっと^た食べさせて。好像挺好吃嘛。让我吃点儿吧。
B: だめ。不行。

知っていると便利!
知道吗?

「~てもらおう」と「~させる」

在第33课里我们学过的「AはBに~てもらおう」这一句型表示的也是“A让B做~”的意思。这个句型用来表示“A请B为A做~”，但是我们可以说「子どもに宿題をさせる(让孩子写作业)」，却不能说「子どもに宿題をしてもらおう(请孩子为我写作业)」。使役形则用来表示命令他人做某事、发布指令、允许或同意做某事等的意思。「~てもらおう」和使役形之间存在着这样的区别，要注意区分使用。

33課で学習した「AはBに~てもらおう」という文型も「A让B~」の意味でした。「~てもらおう」は「A请B为A做~(AがBのために~をしてもらおう)」を表していますが、「子どもに宿題をさせる」は言っても、「子どもに宿題をしてもらおう」と言うのはおかしいですね。使役形は誰かに何かをさせたり、指令を出したり、何かをすることを許可したり、同意したりするときに使います。「~てもらおう」と使役形にはこのような違いがあり、使用するときには注意が必要です。

- 例：因为行李太多了 荷物が多かったので
ゆうじん はんぶん も 友人に 半分 持ってもらった。(我)请朋友拿了一半儿。
むすこ はんぶん も 息子に 半分 持たせた。(我)让我儿子拿了一半儿。

問題1. 仿照例子，在_____下面注上假名，然后在括弧内填写它的意思。

_____ にルビをふって、()の中に中国語で意味を書いてください。

例： ご飯 (飯)
はん

① 考える () ② 復習する (复习)

③ ゲーム () ④ 毎週 ()

問題2. 仿照例子，用中文把意思填写在括弧内。

()の中に中国語で意味を書いてください。

例：りんご (苹果)

① まいしゅう () ② ふくしゅうする ()

③ かんがえる () ④ けが ()

問題3. 仿照例子，把对应的日语用平假名片假名填写在括弧内。

()の中に平仮名/片仮名で書いてください。

例：苹果 (りんご)

① 考虑、认为 () ② 复习 ()

③ 游戏 () ④ 每星期 ()

⑤ 受伤 ()

問題4. 把对应的日语用日本汉字和平假名填写在括弧内。汉字上不用注上平假名。

対応する日本語を漢字と平仮名で書きなさい。漢字の上に平仮名を書かなくていいです。

例： 飯 (ご飯)

① 每星期 () ② 复习 ()

③ 考虑、认为 ()

問題5. 不要参照使役形的变换规则, 试着将下面动词的使役形变成辞书形。

使役形規則のページを見ないで次の動詞の使役形から辞書形を推測して書いてみてください。

例: たべさせる → (たべる)

① かかせる → () ② いかせる → ()

③ そうじさせる → () ④ てつだわせる → ()

⑤ よませる → () ⑥ かえらせる → ()

⑦ こさせる → () ⑧ あけさせる → ()

問題6. 用平假名写出下面动词的使役形。 次の動詞の使役形を平仮名で書いてください。

いちだんどうし
[一段動詞]

①	<small>た</small> 食べる	—	たべさせる	①	やめる	—
②	<small>き</small> 着る	—		③	<small>おぼ</small> 覚える	—

ごだんどうし
[五段動詞]

か行	<small>か</small> 書く	—	かかせる	①	<small>き</small> 聞く	—
が行	<small>ぬ</small> 脱ぐ	—	ぬがせる	②	<small>およ</small> 泳ぐ	—
さ行	<small>はな</small> 話す	—	はなさせる	③	<small>け</small> 消す	—
た行	<small>まつ</small> 待つ	—	またせる	④	<small>も</small> 持つ	—
ば行	<small>あそ</small> 遊ぶ	—	あそばせる	⑤	<small>はこ</small> 運ぶ ^[搬]	—
ま行	<small>よ</small> 読む	—	よませる	⑥	<small>の</small> 飲む	—
	⑦ <small>やす</small> 休む	—				
ら行	<small>はい</small> 入る	—	はいらせる	⑧	<small>すわ</small> 座る	—
	⑨ <small>つく</small> 作る	—		⑩	<small>はし</small> 走る	—
わ行	<small>あら</small> 洗う	—	あらわせる	⑪	<small>か</small> 買う	—
	⑫ <small>うた</small> 歌う	—		⑬	<small>てつだ</small> 手伝う	—

とくしゅどうし
[特殊動詞]

	<small>そうじ</small> 掃除する	—	そうじさせる	①	<small>れんしゅう</small> 練習する	—
②	<small>く</small> 来る	—		③	<small>も</small> 持ってくる	—

問題7. 把下面动词的辞书形变成使役形。次の動詞を辞書形から使役形に変えてください。

例：たべる →(たべさせる)

①おぼえる →() ②のむ →()

③でんわする→() ④よむ →()

⑤かんがえる→() ⑥いく →()

⑦くる →() ⑧かえる →()

⑨まつ →() ⑩つくる →()

問題8. 把下面动词的辞书形变成「使役形＋てください」的形式。

動詞の辞書形を「使役形＋てください」の形に直しなさい。

例：食^たべる→(食べさせてください)

①やる →() ②使^{つか}う →()

③電^{でんわ}話する→() ④休^{やす}む →()

⑤考^{かんが}える→() ⑥行^いく →()

⑦言^いう →() ⑧帰^{かえ}る →()

⑨歌^{うた}う →() ⑩飲^のむ →()

◆◆◆◆◆運用篇◆◆◆◆◆



ことばと表現 1 词汇和表达方式 1

① ^{わたし} (私は) ^こ 子どもに ^{へや} 部屋を ^{そうじ} 掃除させます。	(我)让孩子打扫屋子。
② 父母亲请求孩子学校的老师说 ^{親が子どもの学校の先生に} ^{きょう} 今日は ^じ 3時に ^こ 子どもを ^{かえ} 帰らせてください。	今天3点请让孩子回家。

★(Aは) **Bに** (～を) + 【動詞の使役形】 (A) **让B** (把～) + (動作)

例: ^{せんせい}先生は ^{がくせい}学生に ^{きょうかしょ}教科書を ^よ読ませた。 老师让学生看教科书。

★(Aは) **Bを** (場所に／へ) + ^い行かせる／^こ来させる／^{かえ}帰らせる

(A) **让B** (到某个地方) + 去 / 来 / 回家

动词是「行く／来る／帰る」时，接在进行动作的人的后面的助词不是「に」而是「を」，所以要注意。「行く／来る／帰る」は、動作をする人につく助詞が「に」ではなく、「を」になりますので注意しましょう。

例: ^{わたし}(私)は ^こ子どもを ^{いえ}家へ ^{かえ}帰らせた。(我)让孩子回家了。

・ ^{まいしゅう} 毎週 [每星期]	・ ^{コンピューター} コンピューター [电脑]	・ ^{ピアノ} ピアノ [钢琴]
・ ^{ふくしゅう} 復習する [复习]	・ ^{なら} 習う [学习 (含有跟某人学习之意)]	

練習 1. 仿照例子，造表示使役的句子。 例のように使役の文を作りなさい。

例: ^{せんせい}先生 / ^{がくせい}学生は ^{まいしゅう}毎週 ^{さくぶん}作文を ^か書く

→ ^{せんせい}先生は ^{がくせい}学生に ^{まいしゅう}毎週 ^{さくぶん}作文を ^か書かせる。

^{わたし}(私) / ^こ子どもは ^{しゅくだい}宿題を ^{する}する

→ ^{わたし}(私)は ^こ子どもに ^{しゅくだい}宿題を ^{させる}させる。

^{わたし}(私) / ^こ子どもは ^いスーパーに ^{行く}行く

→ ^{わたし}(私)は ^こ子どもを ^いスーパーに ^{行かせる}行かせる。

① ^{せんせい}先生 / ^{わたし}私たちは ^{じしょ}辞書を ^ひ引く

→ _____。

② ^{わたし}(私) / ^こ子どもは ^{ぐすり}カゼ薬を ^の飲む

→ _____。

③ ^{ぶ ちょう}部長 / ^{しゃいん}社員は ^{こんぴゅーたー}コンピューターを ^{べんきょう}勉強する

[部長]

→

_____。

④ (私) / ^{いもうと}妹は ^{としょかん}図書館に ^い行く

→

_____。

⑤ (私) / ^こ子どもは ^{ピアノ}ピアノを ^{なら}習う

→

_____。

下面的问题，没有孩子的人不用做。 **子どものいない人はやらなくていいです**

練習 2. 你想让自己的孩子做些什么？或者以前让孩子做了什么？仿照例子，造表示使役的句子。 自分の子どもの何をさせたいですか。また何をさせましたか？例のように使役の文を作りましょう。

例：有关 なら ごと 習い事 [学习技艺] / (子ども) ^こピアノを ^{なら}習う

→ 子どもに ^こピアノを ^{なら}習わせたい。 / ^{なら}習わせました。

① 有关 なら ごと 習い事 / (子ども) ^こ水泳を ^{なら}習う

→

_____。

② 有关 なら ごと 習い事 / 自己造句

→

_____。

③ 有关 かじ 家事 [家务(事)] / (子ども) ^こお風呂の ^{ふうろ}掃除を ^{そうじ}する

→

_____。

④ 有关 かじ 家事 / 自己造句

→

_____。

⑤ 有关 しんろ 進路 [去向] / (子ども) ^こ大学に ^{だいがく} ^い行く

→

_____。

⑥ 有关 しんろ 進路 / 自己造句

→

_____。



① 在上课时老师叫值日生把这节课的讲义复印一下。值日生去办公室请求办公室里的老师说	
<small>日直が授業中、先生にコピーを頼まれて事務室に行き、他の先生に頼む</small>	
A: すみません、コピーを <small>つか</small> 使わせてください。	请让我用一下复印机。
B: いいですよ、どうぞ。	可以啊，请用。
<small>在公司 会社で</small>	
② A: その仕事、ぜひ <small>わたし</small> 私に やらせてください。 <small>[務必]</small>	
B: うーん…。	
③ A: すみませんが、来週 <small>らいしゅう きんようび</small> の金曜日、 <small>やす</small> 休ませていただきたいんですが…。	
B: どうしたの?	
A: <small>こ うんどうかい</small> 子どもの運動会があるんです。	

★ 【動詞の使役形】 + てください / ないてください

【動詞の使役形】 + て / ないで

关于自己想做的事情，向对方事先打个招呼或是提出申请的说法。如果对方是朋友的话，可以把「ください」省略。

自分がやりたいことについて相手に一言断ったり、申し出たりする言い方。友達が相手なら「ください」は省略できます。

★ 【動詞の使役形】 + ていただきたいんですが…
+ ていただけませんか

「【動詞の使役形】+ていただきたいんですが…」是比「【動詞の使役形】+てください」更郑重的说法，关于自己想要做的事情，向对方请求许可时，常常使用这种表达方式。「…」表示省略了「よろしいでしょうか(可以吗?)」这样的话。此外，「～させていただけませんか」也作为比较郑重的表达方式来使用。

「動詞の使役形 + て いただきたいんですが…」は「動詞の使役形 + て ください」よりずっと丁寧な言い方で、自分のやりたいことについて相手の許可を得るときによく使います。「…」には「よろしいでしょうか」ということばが省略されています。そのほかに「～させていただけませんか」も丁寧な表現として使われます。

例: やす 休む → やす 休ませていただきたいんですが…
→ やす 休ませていただけませんか

<small>つか</small> 使う [使用]	• おごる [请客]	<small>かんが</small> 考える [考虑、认为]
<small>そうたい</small> 早退する [早退]	<small>けっせき</small> 欠席する [缺席]	<small>しゅつせき</small> 出席する [出席]